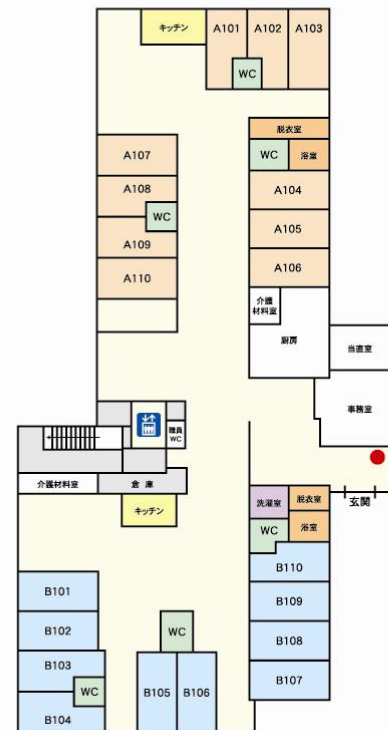


特別養護老人ホーム アガペホーム

アガペホーム平面図

1階



2階



3階



ユニットケア 定員 60名 (6ユニット)

入居者様個人の尊厳を重視したケアを実現するため、全室が個室でリビングを囲んだ10名で1グループの少人数で家庭的な雰囲気の中で日常生活の営みを支援いたします。

チャプレン制

チャプレン(牧師)が、心の悩みや心の痛みなどをお持ちの方の相談をお受けします。また、週3回礼拝を行い、賛美など入居者の参加を促し、心と魂の休息と安心の糧を提供します。

ご利用するには

介護保険法に定める要介護1~5と認定され、常時介護を必要とし、かつ居宅において介護を受けることが困難な方です。詳細はお問い合わせ下さい。

〒514-2221

三重県津市高野尾町 2410-1

TEL:059-253-6517 FAX:059-253-6557

E-mail:betaniyadaihyo@betaniya.com

HP:http://betaniya.jp/

ご挨拶

草の根運動から始まりましたベタニヤの働きは、皆様からの温かいご支援とご協力をいただいて、今日を迎えることができました。心から厚く御礼申し上げます。

感謝なことですが、この度特別養護老人ホーム「アガペホーム」を竣工する運びとなりました。遡ること 27 年前、特別養護老人ホーム建設の申請書を津市に提出しましたが、ここにきてようやくその長年の願いが成就することになりました。私たちベタニヤは、イエス・キリストの愛と奉仕の精神をもってお仕えし、入居者やご家族、地域社会から喜ばれ・信頼される施設となりますよう努めてまいります。これからも、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

社会福祉法人三重ベタニヤ
理事長 村上 久

施設長ご挨拶

特別養護老人ホーム「アガペホーム」は、入居者様のこれまでの生活を押し量り、家庭的な雰囲気の中で、「暮らし」という営みを提供する事を目指します。

介護 4、5 の重度の方ではほぼ占められます。入居者様の状態に添いながら、身体的重度と、認知症に対応するケア（トータルケア）を、三重ベタニヤの理念とケアの方針を結び付けて接します。

入居者様の今の瞬間をとらえ、笑顔を引き出し、また言葉にならないことにも目を向け、お一人一人にかけがえのない日々を過ごしていただけるようにいたします。施設の外部との交流も取り入れ、既存の施設同様に安心と信頼を目標といたします。

特別養護老人ホーム アガペホーム
施設長 松坂なおみ



アガペホームの由来

聖書のことばに由来します。「アガペ」はギリシャ語で“神の愛”を意味します。その愛はイエスが十字架に架けられ、罪ある者の身代わりとなってご自分のいのちを与えられた出来事に示されています。報いを求めない無償の愛、一方的に与える愛のことです。

十字架は極悪な犯罪人が架けられた最も残酷な死刑の道具ですが、なぜか人々は十字架が“美しいもの”、“愛なるもの”と理解しておられます。それはイエスが十字架に架けられたという一事によるのです。「アガペ」は“十字架の愛”のことです。

アガペホームのおもい

イエスは言われました。「人はパンだけで生きるのではなく、神の口から出る一つ一つのことばによる。」パンに象徴される日々の糧の必要性は誰もが認めています、日々の心の、魂の糧については関心が薄いと言えます。私たちの重要な働きがここに 있습니다。いくつになっても、手を合わせる心は誰もが持っています。神のことばである聖書から、心と魂の糧を提供していきます。入居者も職員もいっしょに、賛美歌を歌い、手を合わせて祈りをささげ、聖書のことばに耳を傾ける礼拝の時間が設けられています。

アガペホームのもう一つの特徴は、ライフエンディングケア(Life Ending Ministry)です。心と魂の領域に及ぶミニストリーを専任の牧師が担当します。特養での平均的入居年数は4年、死亡率は70%とされています。死を迎えて人はやっとなプライドを捨て、本当の心を取り戻します。その心のメッセージを受け取って魂の平安をとりなす働きです。

施設概要



会議室



ユニット



個浴



パブリックスペース



居室



機械浴



玄関



共同生活室